

荒川区スポーツ推進プラン【概要版】

1 荒川区スポーツ推進プランの概要

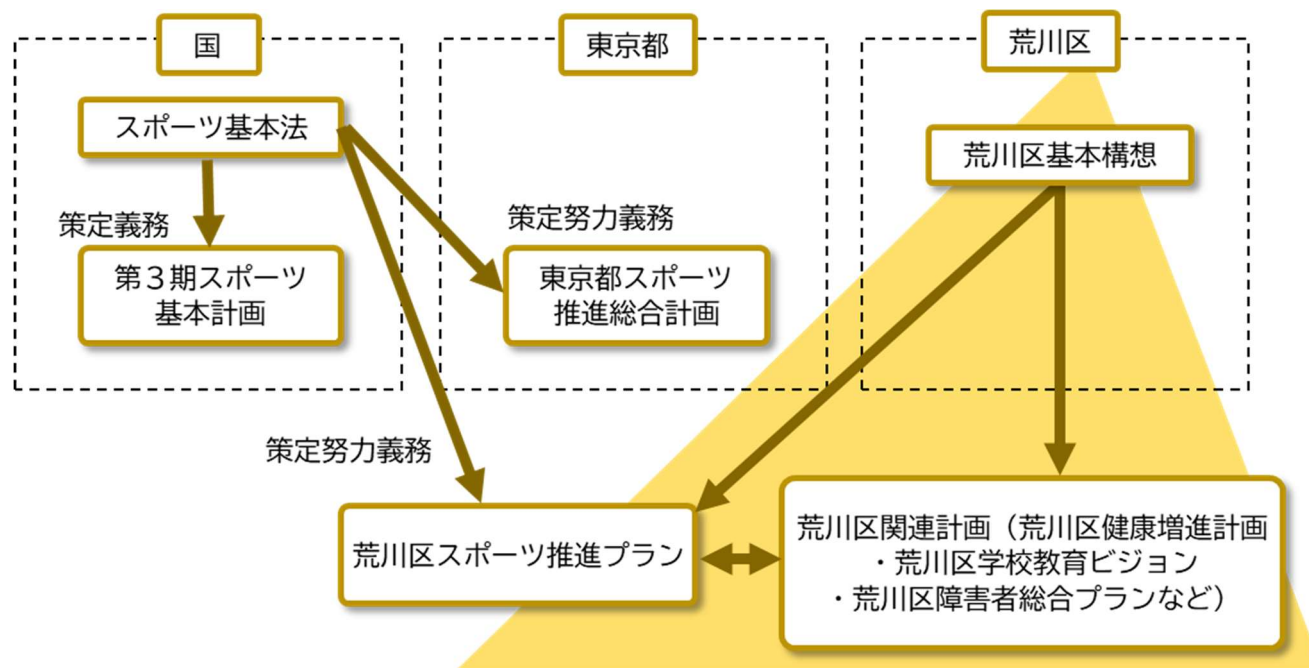
- ◆ 区民のスポーツへの参加を促進し、スポーツを通じた健康寿命の延伸、地域コミュニティの活性化、そして青少年の健全な育成を目指すとともに、区民の誰もがいきいきとスポーツに親しめる荒川区を実現し、さらに発展していくための道筋を示します。
- ◆ スポーツ基本法に定める「地方スポーツ推進計画」の性格を有し、国や都が各々の計画に基づき実施するスポーツ関連事業との役割分担を図りながら、区の地域の実情を踏まえ、スポーツの更なる推進に向けた方向性を示すものです。また、スポーツに深く関わる他の計画との連携を図り、区全体でスポーツを推進していきます。

5 基本理念・基本目標・施策等の体系図

《基本理念》

すべての区民が 身近な地域でスポーツに親しみ
スポーツで 人が 地域が つながり
荒川区の 明るい未来を 創る

2 本プランの位置づけ



《基本目標及び施策》

抽出された課題を解決するために以下の3点の基本目標を設定し、それらに紐づく施策等を整理しました。

- 基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる
- 基本目標2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる
- 基本目標3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる

3 本プランの計画期間

本プランの計画期間は、令和8(2026)年度から令和12(2030)年度の5か年とします。区のスポーツの中期的方向性を見据えつつ、柔軟かつ実効性の高い運用を行うとともに、社会情勢や区民ニーズの変化、施策の進捗状況などを的確に把握し、5年ごとに必要な見直しを行っていきます。

4 解決すべき課題

現行プランの振り返りを行うとともに、荒川区民スポーツ意識調査を行った結果、以下の3点の課題が抽出されました。

- 課題1 スポーツへの参加機会の拡大と多様なニーズへの対応
- 課題2 地域コミュニティにおけるスポーツの活用とスポーツを支える人材の育成
- 課題3 スポーツ環境の充実と利便性の向上

基本理念

すべての区民が身近な地域でスポーツに親しみ
スポーツで 人が 地域が つながり
荒川区の 明るい未来を 創る

基本目標1
生涯にわたって
スポーツを楽しめる
機会をつくる

基本目標2
スポーツを通じて
地域の賑わいと
つながりをつくる

基本目標3
誰もが身近に
スポーツに取り組
める環境をつくる

<< 施策体系図 >>

★は重点プロジェクト

基本目標 1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる

施策 1 子どもたちのスポーツ活動を充実する ★

- スポーツに触れる・スポーツを楽しむ
- 学校におけるスポーツ活動を充実する
- 運動能力を伸ばす
- チャレンジを応援する

施策 2 働き盛り・子育て世代のスポーツ機会を増やす

- 運動をするきっかけをつくる
- 健康を考える
- スポーツで生活満足度を高める

施策 3 スポーツで高齢者の健康増進といきがいくりを応援する

- 運動習慣の定着を支援する
- 楽しみながら体を動かす
- フレイルを予防する

施策 4 障がい者のスポーツ活動を推進する ★

- パラスポーツへの距離を縮める
- 障がいへの理解を深める
- スポーツを通じてつながる
- 運動習慣の定着と運動機能の向上を支援する

基本目標 2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる

施策 1 地域のスポーツ団体を支援する ★

- 活動環境の整備と認知度の向上を図る

施策 2 トップアスリートと連携する

- アスリートにより競技力向上を図る
- アスリートへの応援等を通じてまちの賑わいを創出する

施策 3 仲間づくりを応援する ★

- 集う場・機会を提供する
- クラブやサークルの活動を支援する

施策 4 スポーツで交流を推進する

- 日常の交流の場を設ける
- 競技を通して交流する
- 国内・国際交流を促進する
- 事業者のスポーツ活動を推進する

基本目標 3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる

施策 1 スポーツ環境を充実する ★

- スポーツ施設を整備する
- その他のスポーツ環境を整備する

施策 2 障がい者のスポーツ環境を整える

- スポーツ施設の利用環境を向上する

施策 3 スポーツ施設の利活用を促進し、スポーツ施設や事業等の情報発信を強化する

- スポーツ施設の稼働率を上げる
- 酷暑下におけるスポーツ施設利用の適正化を図る
- スポーツに関する情報発信を強化する

6 プラン推進に向けた実施体制

(1) 区民・団体・事業者等との連携

① スポーツ団体との連携

荒川区でスポーツ活動を支える中心的な役割を担う荒川区スポーツ協会及び各加盟競技団体、スポーツ推進委員などの団体が持つ専門的な知見や指導力、地域に根差したネットワークなどを最大限発揮していただけるよう、なお一層連携を強化し、協力関係を発展させていきます。

② 大学・研究機関等との連携

区内にある大学や専門研究機関などが持つ学術的知見、研究成果、専門的な施設・人材は、区のスポーツ推進に大きな可能性をもたらします。現在も協力関係にありますが、今後は、例えば学生のイベント運営へのボランティア参画などの人的交流も含め、さらなる連携の強化を図っていきます。

③ 民間スポーツ施設との連携

区内のスポーツジムやパーソナルジムなどでは、仕事などで時間的な制約のある方や、新しい区民のスポーツニーズに応える重要な役割を担っています。これらの民間施設との連携を強化し、区全体のスポーツ活動を一層活性化させていきます。

(2) 推進体制の充実

本プランを効果的に推進するため、スポーツに関わる各部署が横断的に連携し、戦略的にスポーツ施策を推進します。また、本プランの進捗管理を行うため、新たな会議体を設置し、定期的に報告を行い、ご意見を頂戴しながら各施策の推進に努めてまいります。

(3) プランの着実な実行

本プランの目標達成に向けて具体的な施策を着実に実行していくため、5年毎に本プランを見直し、改定プランを策定するといった PDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルを実施します。設定した基本目標ごとの達成指標を中心に施策の実施状況を点検・評価し、改善につなげるプロセスを徹底します。